



リハビリ便り

在宅生活での介入

ようやく暖かさが増して、花の便りに心弾ませる季節となりました。

今月は退院後の生活支援である訪問リハビリについて紹介します。日常生活を送っていく中で、「安心・安全に生活したい」や「もう少し楽に動けるようになりたい」等の希望を叶えるために、環境調整の助言や動作練習を行っています。個別の困り毎に対してお行った環境調整を紹介します。

環境調整の一例

《居間編》

「冬はこたつに入っただけでゆっくりしたい」と言った希望に対して、床からの立ち上がりが大変だったため、昇降座椅子を導入しました。



併せて椅子までの移動の際にふらつきが少なくなるように手すりも導入しました。手すりを持つての動作練習で方向転換の向きを助言しました。

導入したことで、昇降座椅子までの移動が安定し、床からの立ち上がりも可能になりました。

《入浴編》

「安全に一人でお風呂に入りたい」と言った希望に対して、自宅の浴槽が深く軽介助が必要だったため浴槽台を導入しました。導入後、実際のお風呂で浴槽の跨ぎの練習として、浴槽台の使用方法や持つと良い場所を助言しました。



浴槽台を導入したことで、介助なく安全に一人でお風呂に入ることができるようになりました。

《玄関編》

「一人で外を散歩をしたい」と言った希望

に対して、玄関の段差が高くなりふらつきがあるため、玄関に据え置きの手すりを導入しました。靴の着脱の時も手すりとお靴箱を使ってみるように助言しました。



当初は靴箱のみを持って上っていました。手すりとお靴箱を持つて上ると靴箱を持つて上りやすくなり、動作が安定し、靴の着脱も立ち上がりやすくなりました。

お知らせ

今回は、様々な目標に対して訪問リハビリで行っている一例を紹介しました。退院直後や在宅生活を送るうえで困りごとがありましたらお気軽にご相談下さい。



お知らせ

訪問リハビリテーション

生活の場にセラピストが伺いリハビリを行います。在宅で実用的な生活動作訓練や、自宅環境の調整、生活内での運動の習慣付け、家族指導等を行います。

問い合わせ先：リハビリテーション科
担当者 黒枝・安東 電話：097-597-5777（代表）

ご不明な点など、まずはお気軽にご相談ください。または、担当のケアマネジャーなどへお問い合わせ下さい。